

2020. 6. 16 十勝毎日新聞

新型コロナ

陰圧テント貸し出し

宮坂建設 地域貢献で購入

富士建設工業 帯広市、宮坂社長は医療用陰圧テントを導入した。陰圧テントで希望する省内の医療機関にて、新たに無償で貸し出している。この陰圧テントは、新たに医療用陰圧テントを導入する医療機関の様子である。また、同社は、この陰圧テントを購入するには、道内では珍しい。地域貢献の一環として、会議を開き、発表した。(約30分前)

同社は新型コロナ対策で工事現場を含め、医療機関向けに医療用テント306枚、防護服700着を寄付する。独自の取り組みを実行してきた。一連のコロナ対策で約4500万円を投じている。

太陽工業本社東京・大阪の医療用陰圧テント3セット、陰圧機能なしのテントセットを購入。テントは4つの部屋を送風機で駆動させる。いずれも通路の使用を見越して、冷房機能が付いている。幅4m、高さ2.5mの大きさで、陰圧機能のある部屋は、その奥行きがある。陰圧された部屋は、ウイルスが外に漏れないので、医療機関が陰圧テントを屋外に設置し、外来受け入れすれば、一般的な患者や、新型コロナに感染した他のある患者を分けられる。

太陽工業は新型コロナ流行以降、医療用陰圧テントを約300件受注した。医療機関以外の企業、団体が導入を導入したのは初めてだ。

宮坂社長は、「行政などを補助金を得つていては、非医療機関の陰圧テントを導入するには道内では珍しい。地域貢献の一環として、会議を開き、発表した。(本田麗子)

宮坂建設工業が導入した陰圧テント。内部は大人の身長ほどの高さがある(16日午前11時ごろ、小山田竜士撮影)

動画は電子版で

2020. 6. 17 北海道新聞

【帯広】宮坂建設工業(帯広)は、新型コロナウイルス感染拡大に備え、ウイルス拡散を防ぐ医療用陰圧テント3基を購入し、十勝管内での医療機関などへの無償貸し出しを始めた。

陰圧テント 医療機関に

帯広・宮坂建設 3基無償貸し出し

【帯広】宮坂建設工業(帯広)は、新型コロナウイルス感染拡大に備え、ウイルス拡散を防ぐ医療用陰圧テント3基を購入し、十勝管内での医療機関などへの無償貸し出しを始めた。

陰圧テントは高さ2.5mで、待合室(約10平方㍍)と陰圧室(約20平方㍍)に分かれている。陰圧室の気圧を陰圧機で下げる。ウイルスが室外に漏れることを防ぐ。

ウイルスの拡散を防ぐ医療用陰圧テント

従事者の2次感染を防ぐ。約15分で組み立てられる。

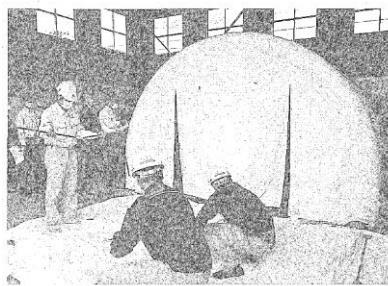
同社は毎年、市民約3千人が参加する防災訓練を開催するなど防災や安全への取り組みに力を入れておらず、同管内に陰圧病床が少ないことから導入した。陰圧テントの医療機関向け説明会を16日に開いた宮坂寿文社長(65)は、「十勝のインフラ企業として地元に貢献したい」と語った。(鈴木宇星)

2020. 6. 18 北海道建設新聞

宮坂建設工業(本社・
帯広)は16日、BCPの
一環として医療用陰圧庄
所3張りを購入し、帯
広市内の同社機材センター
で設営作業を実演した。
陰圧設備はウイルスなど
の感染防止に有効で、非
常に医療機関に貢献し出
したいとしている。

医療用陰圧テント導入

感染防止へ非常時貸し出し



2020. 6. 18 北海道通信